

(※大阪市電子申請・オンラインアンケートシステムで実施)

地域福祉活動を支援する福祉専門職への調査

大阪市では、平成30年3月に「だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」を基本理念とした大阪市地域福祉基本計画を策定しました。

地域には、年齢や性別、障がいの有無や出身地など、さまざまな特性や背景を持つ人々が暮らしています。また、仕事や学校のほか、ボランティアなど、いろいろな理由で地域を訪れ、活動している人々もいます。このようにだれもが自分らしく安心して生活していくために、住民や行政をはじめ、地域に関わるすべての人の力をあわせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活を共に楽しむ地域を作り上げていくという「地域福祉」の考えに基づく取り組みを進めています。

この調査は、「地域福祉」について、みなさまのご意見をお聞きして、今後の施策の参考にするものです。どうか、日頃のお考えを率直にお聞かせください。

※ この調査は、質問1から質問18までありますが、あなたのお考えに近い選択肢がないときや、答えられないとき、あるいは、答えたくないことは、その質問は空白のままで結構です。

だれもが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりについて

質問1 担当している地域について「暮らしやすい地域である」と感じていますか。

(回答は1つ)

- 1. 感じる
- 2. ある程度感じる
- 3. あまり感じない
- 4. 感じない

〔質問1で「1. 感じる」「2. ある程度感じる」と答えた方にお聞きします。〕

質問1-1 担当の地域のどのような点に「暮らしやすさ」を感じていますか。(回答はいくつでも可)

- 1. 近所付き合いや地域とのつながりがある点
- 2. 地域活動やボランティア活動が活発な点
- 3. 福祉や医療サービスが充実している点
- 4. 買い物や通勤・通学など日常生活が便利な点
- 5. 静けさや緑が多いなど、環境がよい点
- 6. 治安がよいなど、安心して住める点
- 7. 公共施設や道路のバリアフリーが進んでいる点
- 8. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実している点
- 9. その他(具体的にお書き下さい:.....)

質問2 担当している地域がより暮らしやすい地域であるために、どのようなことが必要だと思いますか。(回答はいくつでも可)

- 1. 近所付き合いや地域とのつながりがあること
- 2. 地域活動やボランティア活動が活発であること
- 3. 福祉や医療サービスが充実していること
- 4. 買い物や通勤・通学など日常生活が便利であること
- 5. 静けさや緑が多いなどの環境がよいこと
- 6. 治安がよく安心して住めること
- 7. 公共施設や道路のバリアフリー化が進むこと
- 8. 公園や図書館、スポーツセンターなど公共施設が充実すること
- 9. その他(具体的にお書き下さい:.....)
- 10. わからない

地域での支え合い・助け合いについて

質問3 担当している地域は、「つながりのある地域」だと思いますか。(回答は 1 つ)

- 1. そう思う
- 2. ある程度そう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない

[質問3で「1. そう思う」「2. ある程度そう思う」と答えた方にお聞きします。]

質問3-1 担当している地域が「つながりのある地域」だと思う理由は何ですか。(回答はいくつでも可)

- 1. 近隣の住民同士のあいさつや声かけがあるから
- 2. 地域における日常の見守り活動があるから
- 3. 地域に困りごとなどの相談をする人がいるから(場があるから)
- 4. お祭りなどの地域の行事が開催され多くの人に参加しているから
- 5. 地域活動やボランティア活動が活発に行われているから
- 6. その他(具体的にお書き下さい:.....)

質問4 どのようなことを一層推進すれば、地域でお住まいの方が地域の「つながり」を実感することができるようになりますか。(回答はいくつでも可)

- 1. 近隣の住民同士で普段からあいさつや声かけをすること
- 2. お祭りなどの地域の行事などに参加すること
- 3. 地域福祉活動やボランティア活動に参加すること
- 4. 広報誌などで「つながり」の重要性を周知すること
- 5. 地域福祉の推進役などが普段の困りごとの相談にのること

□6. その他(具体的にお書き下さい:))

□7. わからない

地域福祉活動について

質問5 担当している地域で、どのような地域福祉活動が求められていると感じていますか。(回答はいくつでも可)

- 1. 日常の見守り活動
- 2. こどもを支援する活動(こども食堂やこどもの学習支援など)
- 3. 子育てを支援する活動
- 4. 高齢者を支援する活動
- 5. 障がいのある方を支援する活動
- 6. 介護者や介助者を支援する活動
- 7. 地域防災及び防犯などに関する活動
- 8. 地域の高齢者とこどもとの世代間交流活動
- 9. 市民後見人活動(家庭裁判所から成年後見人などとして選任された一般市民による後見活動)
- 10. 外国籍住民・留学生等について交流や支援をする活動
- 11. その他(具体的にお書き下さい:))
- 12. わからない

質問6 担当している地域における地域福祉活動が抱える一番の課題は何だと思えますか。(回答は1つ)

- 1. 活動の担い手不足(担い手の高齢化を含む)
- 2. 活動場所の不足
- 3. 活動資金の不足
- 4. 地域福祉活動の担い手を支える福祉専門職の人材不足
- 5. 専門職との協議の場の不足
- 6. その他(具体的にお書き下さい:))
- 7. わからない

住民主体の地域課題の解決力強化について

質問7 担当している地域において、地域福祉活動を通じて発見された地域課題やニーズについて、住民同士で共有し、話し合い、地域全体で解決に向けて取り組む体制が整っていると感じますか。(回答は1つ)

- 1. 整っている
- 2. ある程度整っている

- 3. 整っていない
- 4. わからない

質問8 地域課題やニーズについて、地域全体で解決に向けて取り組む体制を整えていくためには何が一番必要であると考えますか。(回答は1つ)

- 1. 活動の担い手の養成
- 2. 活動場所
- 3. 活動資金
- 4. 福祉専門職による支援
- 5. 行政による支援
- 6. その他(具体的にお書き下さい:.....)
- 7. わからない

質問9 担当する地域において、どのような地域福祉活動への支援が最も求められていると思いますか。(回答は1つ)

- 1. 団体や活動者に対する地域福祉活動にかかる助言
- 2. 活動者を対象とした会議や研修などの開催
- 3. 地域課題を解決するための会議への参画
- 4. 新たな活動の立ち上げ支援
- 5. 広報啓発活動への支援
- 6. 地域福祉活動の担い手の養成への支援
- 7. 地域資源の開発
- 8. 活動継続への後方支援
- 9. その他(具体的にお書き下さい:.....)
- 10. 特にない
- 11. わからない

質問10 福祉専門職が地域福祉活動への支援をおこなっていくうえでの一番の課題は何だと思えますか。(回答は1つ)

- 1. 地域(住民)の福祉専門職への認識不足
- 2. 専門性の不足・偏重
- 3. 雇用の安定性
- 4. 職場における体制
- 5. 福祉専門職自身の地域に関する理解不足
- 6. その他(具体的にお書き下さい:.....)
- 7. 特にない
- 8. わからない

質問 11 地域住民、地縁団体、行政・社協を除いて、担当している地域において地域福祉活動に参画している主体は次のうちどれですか。（回答はいくつでも可）

- 1. 地域にあるボランティア団体やNPO法人
- 2. 地域にある社会福祉法人（社会福祉施設など）
- 3. 地域にある企業や個人事業主
- 4. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- 5. 特にない
- 6. 知らない

質問 12 地域住民、地縁団体、行政・社協を除く主体が実施する社会福祉活動に期待することは次のうちどれですか。（回答はいくつでも可）

- 1. 専門性（知識やノウハウ）を活かした活動
- 2. 豊富な人材を活かした活動
- 3. 資金協力（行事への協賛など）
- 4. 継続的な参画
- 5. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- 6. 特にない
- 7. わからない

質問 13 担当する地域で、どのような社会資源の活用が求められていると考えていますか。（回答はいくつでも可）

- 1. 町会・地域社協などの地縁団体
- 2. 地域にあるボランティア団体やNPO法人
- 3. 地域にある社会福祉法人（社会福祉施設等）
- 4. 地域にある企業や個人事業主
- 5. 地域にいる専門的なスキルを有する人材
- 6. 市内の大学や専門学校などに通う学生
- 7. 地域にある地域集会施設やコミュニティ施設
- 8. 空き家や空き店舗
- 9. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- 10. 特にない
- 11. わからない

質問 14 地域にある社会資源を活用しやすくするには何が最も必要と考えますか。（回答は1つ）

- 1. 地域にある社会資源の情報
- 2. 人材の交流の場

- 3. 活用に要する手続きの簡素化
- 4. 活用に要する費用の低廉化
- 5. その他(具体的にお書き下さい:
- 6. わからない

〔質問 14 で「1 地域にある社会資源の情報」と答えた方にお聞きします。〕

質問 14-1 地域にある社会資源の情報を得るために効果的な方法と考えるのは次のうちどれですか。(回答はいくつでも可)

- 1. 地域の回覧板や広報誌
- 2. 公共施設、商業施設などの掲示板、ポスター
- 3. 区役所、NPO、ボランティア団体などのホームページ、SNS(LINE、Twitter、Facebook など)
- 4. その他(具体的にお書きください)

()

災害への備えについて

質問 15 大規模な災害が発生すると、消防、警察、自衛隊などによる救援が行き渡ることが極めて難しくなり、地域の住民同士で、救助活動や避難所の運営を行うことが求められます。このような場合に備えて、普段からどのようなことが必要であると思いますか。(回答はいくつでも可)

- 1. 近所の人とあいさつをする程度の関係はつくっておくこと
- 2. 避難するのに支援が必要な人が誰であるか把握しておくこと
- 3. 住民同士で互いの家庭状況(家族構成・介護の必要性など)についてある程度知っておくこと
- 4. 地域で用意している救助資材の内容や管理場所を知っておくこと
- 5. ハザードマップなどで地域の危険な場所を知っておくこと
- 6. 地域の災害時避難所を知っておくこと
- 7. 警戒レベル(5段階)などの防災情報の意味を知っておくこと
- 8. 防災訓練に参加すること
- 9. その他(具体的にお書き下さい:
- 10. わからない

質問 16 大規模な災害が発生した際には、通常業務に加えて、様々な形での地域福祉活動の支援が求められることが予想されますが、あなたは、担当されている地域において災害時にどのような支援が必要とされるかを想定し、普段から準備ができていますか。(回答は1つ)

- 1. 必要な支援を想定して、準備ができています

- 2. 必要な支援を想定して、ある程度準備ができている
- 3. 必要な支援を想定しているが、準備ができていない
- 4. 必要な支援を想定していない

地域における見守り活動について

質問 17 大阪市では、民生委員・児童委員による訪問活動や、ボランティアによる児童の登下校の見守り、老人クラブなどの地域住民による友愛訪問、災害時の要援護者名簿を活用した地域での見守り活動などがおこなわれていますが、あなたは担当の地域で行われている見守り活動の課題は何であると考えますか。（回答はいくつでも可）

- 1. 見守りの対象となる世帯の増加
- 2. 町会などの地縁関係の希薄化
- 3. 担い手の不足（担い手の高齢化）
- 4. 見守り活動の認知不足
- 5. その他（具体的にお書き下さい：.....）
- 6. わからない

あなたご自身のことについて

質問 18 今までお聞きしたことを整理するために、あなたご自身のことなどをお聞かせください。

A 性別を選んでください。（回答は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. その他、または、答えたくない

B 年齢について、あてはまるものを選んでください。（回答は1つ）

- 1. 20歳代
- 2. 30歳代
- 3. 40歳代
- 4. 50歳代
- 5. 60歳代
- 6. 70歳代
- 7. 80歳以上

C 担当している区を選んでください。（回答は1つ）

- 1. 北区
- 2. 都島区
- 3. 福島区
- 4. 此花区
- 5. 中央区
- 6. 西区
- 7. 港区
- 8. 大正区
- 9. 天王寺区
- 10. 浪速区
- 11. 西淀川区
- 12. 淀川区
- 13. 東淀川区
- 14. 東成区
- 15. 生野区
- 16. 旭区
- 17. 城東区
- 18. 鶴見区
- 19. 阿倍野区
- 20. 住之江区
- 21. 住吉区
- 22. 東住吉区
- 23. 平野区
- 24. 西成区

D あなたの福祉専門職としての職名は何ですか。(回答は 1 つ)

- 1. 区社会福祉協議会の地域支援担当職員
- 2. 見守り相談室 CSW (見守り相談員)
- 3. 生活支援コーディネーター
- 4. 高齢福祉分野の相談支援機関の職員
- 5. 障がい分野の相談支援機関の職員
- 6. 児童・ひとり親福祉分野の相談支援機関の職員
- 7. 生活困窮・就労支援分野の相談支援機関の職員
- 8. その他 (具体的にお書き下さい:))

